

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2022年5月)

【ポイント】

内政

- 18歳～49歳を対象とした新型コロナウイルスワクチンの4回目接種が開始。
- 24日、世論調査会社 Equipos 社はラカジェ・ポウ大統領の支持率調査結果を発表。
- IDB が支援し、中国企業が受注する今期最大の電力公社(UTE)のプロジェクトとなる高圧線設置工事が6月から開始。

外交

- 2日、マルドナド県プンタ・デル・エステにて、ラカジェ・ポウ大統領及びアズレイ・ユネスコ事務局長出席の下、「世界報道の自由の日」のユネスコ会議開会式が開催された。
- 3日、ブスティージョ外相がウルグアイを訪問中のフランサ伯外相と外相会談を実施。
- 6日、ウルグアイ訪問中のモウラン伯副大統領がアルヒモン副大統領と会談を実施。
- 15日、ベニテス・パラグアイ大統領がパラグアイ訪問中のラカジェ・ポウ大統領に、パラグアイ独立211年を記念するフランシスコ・ソラーノ・ロペス国家功労勲章(襟章)を授与。
- 20日、ブスティージョ外相が王毅中国外交部長と電話会談を実施。
- 23日、ボリス・ジョンソン英国首相が、英国を訪問中のラカジェ・ポウ大統領と首脳会談を実施。

経済

- 4月のインフレ率は9.4%。
- 17日、アルベレチェ経済財務大臣は、物価抑制及び脆弱な立場にある国民の購買力改善を目的とした経済政策を発表。

1 内政

(1)新型コロナウイルスワクチン4回目の接種

18歳～49歳を対象とした新型コロナウイルスワクチンの4回目接種が開始された。特に疾患を有する者が優先的に接種可能となる。

(2)社会教育及び雇用プログラムの発表

12日、レマ社会開発大臣は社会的に脆弱な立場にある国民3,000人に対する社会教育及び雇用プログラムの詳細説明を行った。同プログラムでは、対象となる3,000人に7か月間の職業研修機会が与えられ、月額18,000ペソの給与を受け取ることが可能となる。同大臣は、受益者に労働の自律性と社会福祉を提供することが目的である旨述べた。同プログラムは、年間約400百万ペソの予算が充てられる。

(3)ラカジェ・ポウ大統領支持率調査

5月24日、世論調査会社 Equipos 社は、同社が4月23日から5月7日にかけて18歳以上のウ

ルグアイ国民1,195名に対して実施したラカジェ・ポウ大統領の支持率調査に関する報告を発表(誤差±2.8%)。「あなたはラカジェ・ポウ大統領が大統領としての役割を果たしていると思いますか」との質問に対し、「役割を果たしていると認める(支持)」と回答した国民は48%、「認めない(不支持)」と回答したのは31%、「どちらでもない」と回答したのは20%、「分からない・無回答」は1%であった。

(4) 電力公社(UTE)による高圧線設置プロジェクトの開始

エマルディ UTE 総裁は、今期最大の UTE 社のプロジェクトとなる高圧線設置工事を6月から開始する旨発表した。同プロジェクトの投資額192百万ドルは、当国北部のタクアレポ県とサルト県を結ぶ高圧線の送電網を繋ぐ作業に充てられる予定である。この工事は、中国政府系企業 China Machinery Engineering Coporation (CMEC) が受注し、ブラジル及びアルゼンチンへの送電及び電力輸出を増大するものである。同プロジェクトにかかる資金は、債券発行及び米州開発銀行(IDB)グループの米州投資公社(IDB Invest)からの借入れで賄われる。

2 外交

(1) 「世界報道の自由の日」のユネスコ会議の開催

5月2日、当国マルドナド県プンタ・デル・エステで「世界報道の自由の日」のユネスコ会議開会式が開催された。同式典には、ラカジェ・ポウ大統領がオードリー・アズレイ・ユネスコ事務局長とともに登壇し、開会演説を行った。また、アントニオ・グテーレス国連事務総長及びミシェル・バチエレ国連人権高等弁務官からはビデオメッセージが届いた。

(2) フランサ伯外相のウルグアイ訪問

5月3日、ブスティージョ外相はウルグアイを訪問中であったフランサ伯外相と外相会談を実施。メリン湖の水路開発及びウルグアイからブラジルへの重要な輸出品目である電力輸出に関して協議が行われた。また、同会談ではメルコスールの近代化及び促進についても協議が行われた。

(3) モウラン伯副大統領のウルグアイ訪問

5月6日、当国を訪問中のモウラン伯副大統領はアルヒモン副大統領と会談を行った。また、モウラン伯副大統領は、20社を超えるブラジル及びウルグアイ企業とのビジネス会合に参加、二国間投資の増加及び両国間のビジネス環境改善に対する民間企業の関心が明らかになったと発言した。

(4) ラカジェ・ポウ大統領のパラグアイ訪問

5月15日、マリオ・アブド・ベニテス・パラグアイ大統領はパラグアイ訪問中のラカジェ・ポウ大統領に対しパラグアイ独立211年を記念するフランシスコ・ソラーノ・ロベス国家功労勲章(襟章)を授与した。また、両首脳は共同声明を発表し、ウルグアイは今後の両国を結びつける課題に関して、国家間の連帯、基本的価値及び基本的原則の尊重、並びに貿易問題を強調した。

(5) サリーナス厚生大臣のスイス訪問

5月19日、サリーナス厚生大臣は第75回 WHO 総会出席のため、ジュネーブを訪問。同大臣は、この機に各国保健大臣とのバイ会談を通じて汎米保健機構(PAHO)事務局長候補のキャンペー

ン活動を開始。ウルグアイ政府は、2022年9月に行われる同事務局長選挙(2023年2月就任)においてサリーナス厚生大臣を候補者に立てる旨決定している。

(6) ブスティージョ外相と王毅中国外交部長との外相電話会談

5月20日、ブスティージョ外相は王毅中国外交部長と電話会談を行い、二国間及び多国間アジェンダに関する主要テーマについて議論した。

(7) ラカジェ・ポウ大統領の英国訪問

5月23日、ボリス・ジョンソン英国首相は英国を訪問中のラカジェ・ポウ大統領と首脳会談を実施した。両首脳は、共通の価値観及び共通の利益の上に築かれた強固な二国間関係を再確認し、両国の関心事項における協力を深め、貿易関係を発展させることにつき合意した。

3 経済

(1) 当国中銀の経済予測

当国中銀は、今年9月からインフレターゲットの上限を1ポイント引き下げ、3%~6%の範囲に変更、2年後の2024年第1四半期にインフレ率は目標レンジの上限となる6%に達すると予測。期待インフレ率は、今年前半は加速的に上昇し、今年の第3四半期からは下降するが、24か月後には6%に達すると見込まれている。また、当国中銀は、2022年の経済成長率を2021年(4.4%)の成長と同様の成長リズムが見られると予測、2023年には約3%の成長が見込まれると予測した。一方で、当国経済財務省は2022年のGDP成長率を3.8%と予測している。

(2) 4月のインフレ率

アナリストによると、4月のインフレ率9.4%は、右結果は経済分析者の予想を下回るものであり、政府にとって、ある程度の落ち着きをもたらすものであるという。国家統計院(INE)の発表によると、インフレ率を安定させた主な要因は、果物及び野菜の価格低下、並びに食肉の付加価値税(IVA)が引き下げられたことによる。

(3) 物価抑制及び脆弱な国民の購買力改善のための経済政策の発表

5月17日、アルベレチェ経済財務大臣は記者会見を開き、物価抑制及び脆弱な立場にある国民の購買力改善を目的とした経済政策を発表した。脆弱な立場にある国民を支援するため、公平プランの家族手当(las Asignaciones Familiares del Plan de Equidad: AFAM-PE) (注: 児童養育手当)及びウルグアイ社会カード(la Tarjeta Uruguay Social: TUS) (注: 生活保護費支給カード)の4%増額が7月から実施され、対象者は85万人に及ぶ。また、9月末までスーパーガスの価格を凍結し、社会開発省のプログラム受給者または社会保障銀行(Banco de Prevision Social: BPS)の家族手当受給者である約100万人に対し、スーパーガスの価格を50%割り引く措置を講じる。さらに、公平プランの家族手当を受給している0歳から6歳までの13万人の子どもに1,500ペソの補助金を支給する。物価に関して、政府は、Tuapp(注: 電話公社 ANTEL 社が作成した電子マネーアプリ。)を通じて家族手当を受け取るユーザーに対し付加価値税(IVA)を撤廃、また、小麦及び油の輸入関税の引き下げを決定した。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・7日～8日：ペニャ環境大臣のアルゼンチン訪問（環境展示会イベント）
- ・13日～15日：ブスティージョ外相のパラグアイ訪問（外相バイ会談）
- ・15日：ラカジェ・ポウ大統領のパラグアイ訪問（パラグアイ独立211年記念式典）
- ・19日：サリーナス厚生大臣のスイス訪問（WHO 総会）
- ・23日：ラカジェ・ポウ大統領、ロドリゴ・フェレス大統領府副長官、ブスティージョ外相、アルベレチエ経済財務大臣、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣（21日～25日）、アルバロ・ガルセ戦略情報庁長官及びロペス・ファブレガ外務省官房長の英国訪問（公式訪問）
- ・25日～27日：ダ・シルベイラ教育文化大臣のアルゼンチン訪問（ラテンアメリカ・カリブ地域教育大臣会議）

(2) 来訪

- ・2日：オードリー・アズレイ・ユネスコ事務局長（「世界報道の自由の日」のユネスコ会議）
- ・3日：フランサ伯外相（ブスティージョ外相との外相会談）
- ・6日：モウラン伯副大統領（アルヒモン副大統領と副大統領会談）
- ・11日：Elnur Mammadov アゼルバイジャン外務次官（下院外交委員会出席）